

# 仙台市 令和の町内会運営

2023年9月1日・2日



株式会社GLOCAL DESIGN

酒本 宏  
松田沙織

## 650以上の町内会・自治会の皆さんと意見交換

### 酒本 宏 (さけもと ひろし)

- 株式会社Glocal Design (グローカルデザイン) 代表取締役
- 株式会社KITABA 代表取締役
  
- 技術士 (都市及び地方計画部門・総合監理部門)
- 北海道大学工学部非常勤講師 (コミュニティデザイン)
- 北海学園大学非常勤講師
- 札幌市 まちづくりセンターアドバイザー
- 全国商店街支援センター・アドバイザー
- 一般社団法人 北海道観光を考えるみんなの会 事務局長
- 札幌市内の町内会の総務部長

## プロジェクト(市民自治・コミュニティデザイン関連のみ)

- 2005年 札幌市市民活動促進条例策定支援  
(市民まちづくり活動促進条例)
- 2006年 札幌市自治基本条例に関連した子どもワークショップ
- 2007年 「区民協議会のあり方等に係わるアドバイザー会議」運営業務  
東区まちづくり参加入門講座コーディネーター
- 2008年 市民まちづくり活動基本計画策定支援
- 2009年 市民による集中評価会議コーディネーター
- 2011年 まちづくりセンター機能PRによる市民活動促進事業
- 2012年 地域力強化に向けた総合サポート事業企画運営業務
- 2013年 町内会による加入促進活動支援事業企画運営
- 2014年～札幌市、仙台市や函館市、千歳市、上富良野町、滝川市、  
砂川市などで町内会活性化関連の講演などを多数
- 2020年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務
- 2021年 横浜市瀬谷区、埼玉県戸田市、北海道斜里町で講演
- 2022年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務  
仙台市、栃木県宇都宮市、砂川市、余市町、斜里町などで講演・ワークショップ

## 著書

- 道の駅／地域産業振興と交流拠点 編集・共著
- 「集落営農」／農山村の未来を拓く 共著
- 「ご当地ラーメン」の地域ブランド戦略 共著
- 「エコタウン」が地域ブランドになる時代 共著
- 農産物直売所／それは地域との「出会いの場」 共著
- 「村」の集落ビジネス 中山間地域の自立と産業化 共著 など

## 松田沙織(まつださおり)

- 株式会社Glocal Design(グローバルデザイン) マネージャー
- 技術士補
- 札幌市や千歳市などで町内会の支援を行なっています。
- 町内会のデジタル化の研修を行ったきたほか、若い世代が参加しやすい町内会のあり方を支援しています。
- 千歳市では、若い世代のグループをつくり、町内会と若い世代のマッチングのしくみづくりを進めてきました。
- 仙台市テーマ別研修、札幌市町内会未来塾、砂川市まちづくり研修などで講師を務めています。

# 今日の話題

1. 町内会運営は分岐点
2. 町内会の必要性和価値
3. 仙台市の町内会の現状と課題
4. 令和の町内会運営のヒント

# 1. 町内会運営は分岐点

コロナ禍を越えた町内会

町内会運営は多数の選択肢

令和の町内会

加入率低下  
担い手不足

コロナ禍で活動を休止

デジタル化

ライフスタイルが大きく変化

町内会は

**地域コミュニティのニーズに  
応えているか**

## 2. 町内会の価値

## (1) 町内会の価値

地域の価値を高める



住んでみたいまち  
住み続けたいまち

安心・安全なコミュニティ  
適度な人のつながりと交流  
災害時の助け合い  
楽しい暮らし

地域コミュニティの中心的な担い手は町内会

- まちづくりや環境評価などでその効果を貨幣換算できない時に使う「**ヘッドニック法**」をヒントにすると、町内会など活動の価値は以下のように考えることができます。
- 町内会活動によってごみステーションの管理はもちろん、清掃や花植えなどの交流が行われ、不動産価格が周辺地域に比べ1,000円/坪高いと仮定します。
- その時の町内会活動が生み出す価値  
80坪(会員の住宅平均坪数) × 1,000円/坪 × 50世帯 = 400万円



町内会活動は目に見えないだけで地域の価値を高めています

# 地域の価値が高くなった横浜市美晴台地区

50年以上が経過した住宅地にも関わらず空き家が出ない



## (2) 地域コミュニティには助け合いが必要

### 高齢者支援

- 高齢者の見守り
- 健康寿命
- 活躍の場づくり

### 子育て支援

- 子育てサロン
- 子ども食堂
- 子どもの見守り
- 子どもの一時預かり

### 安心安全

- 防犯街路灯



### 防災体制

- 地球温暖化に伴う災害の増加
- 避難所運営

### コミュニティの場

- 孤独などへの対応

### 空き家対策

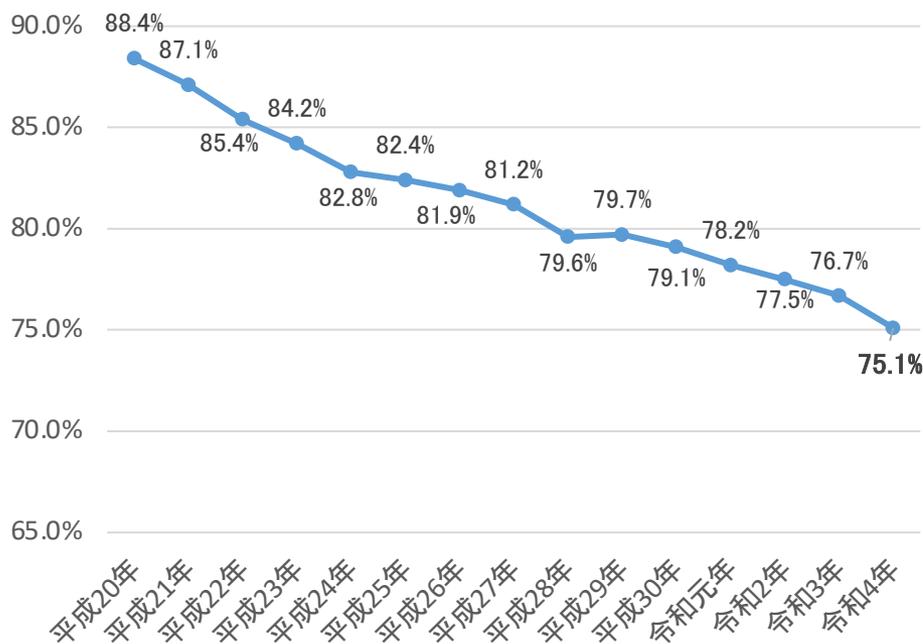
- 治安維持

# 3. 仙台市の町内会の現状と課題

# (1) 仙台市の町内会・自治会の現状

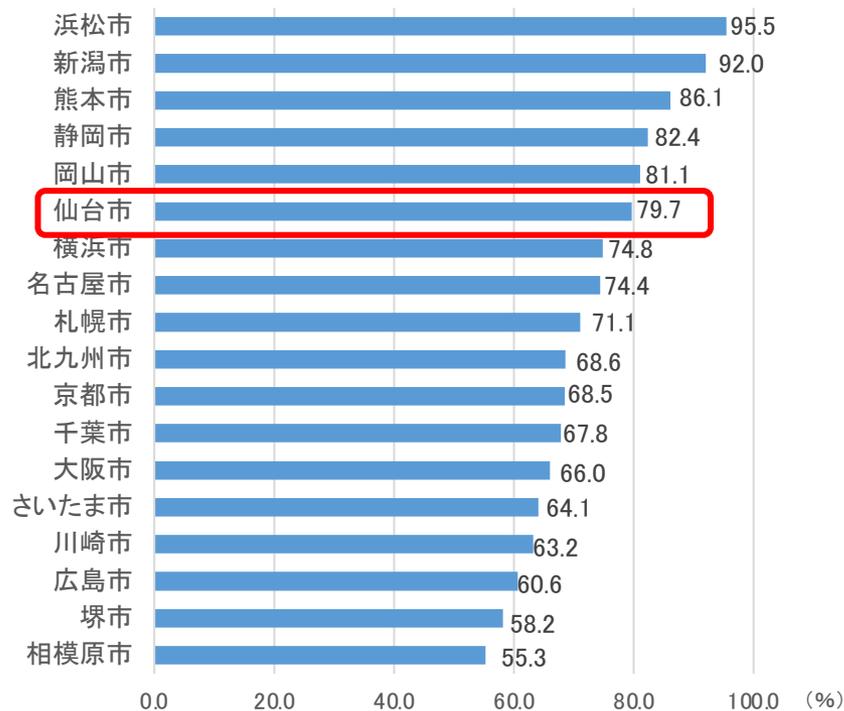
- 仙台市における町内会の加入率は75.1% (令和4年6月1日時点) であり、他の政令市との比較では高い水準にありますが、仙台市の町内会加入率の推移においては減少傾向にあります。

仙台市町内会加入率



※毎年6月1日現在

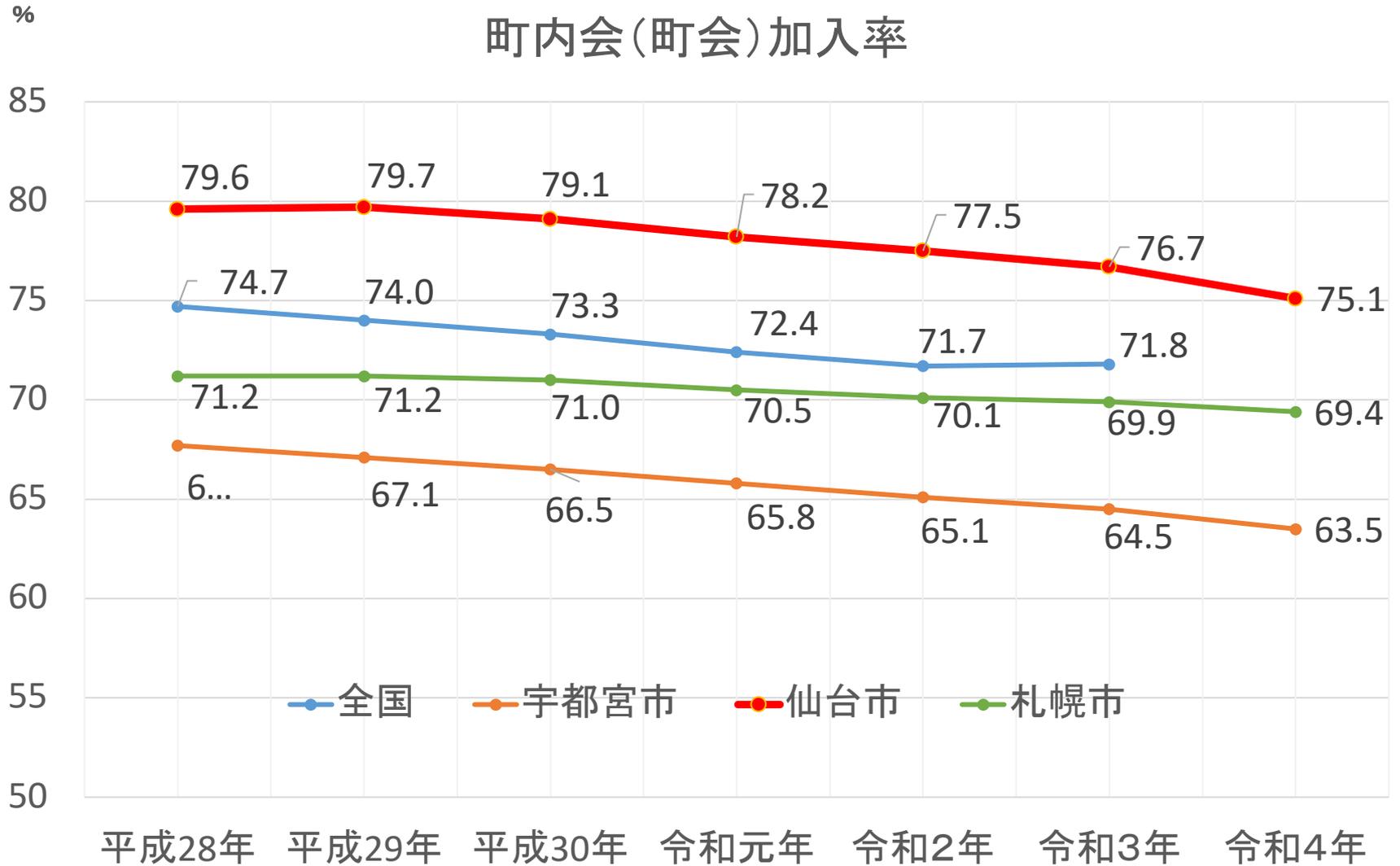
政令市町内会加入率比較



※H29年度調査による。政令市比較は調査基準日が統一されていない。(仙台市はH29.6.1現在)

令和3年 仙台市市民局地域政策課 資料より

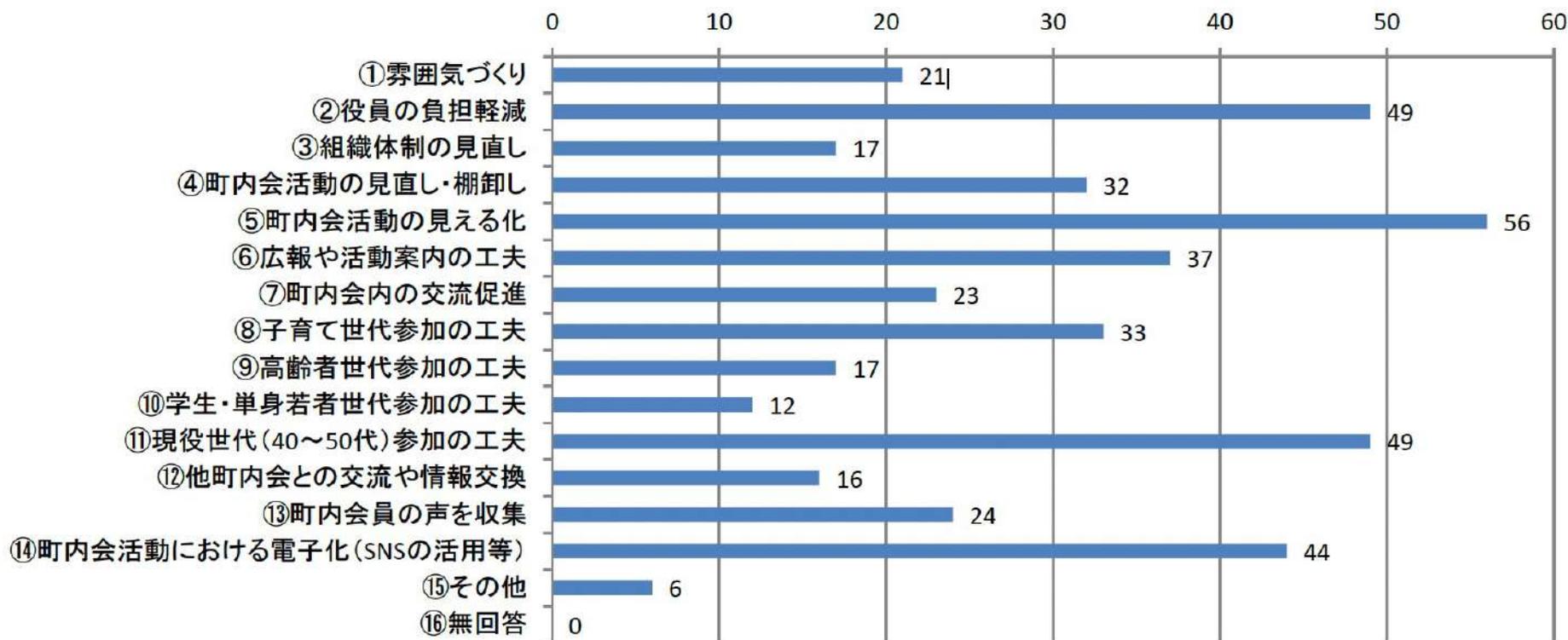
# 町内会(町会)加入率



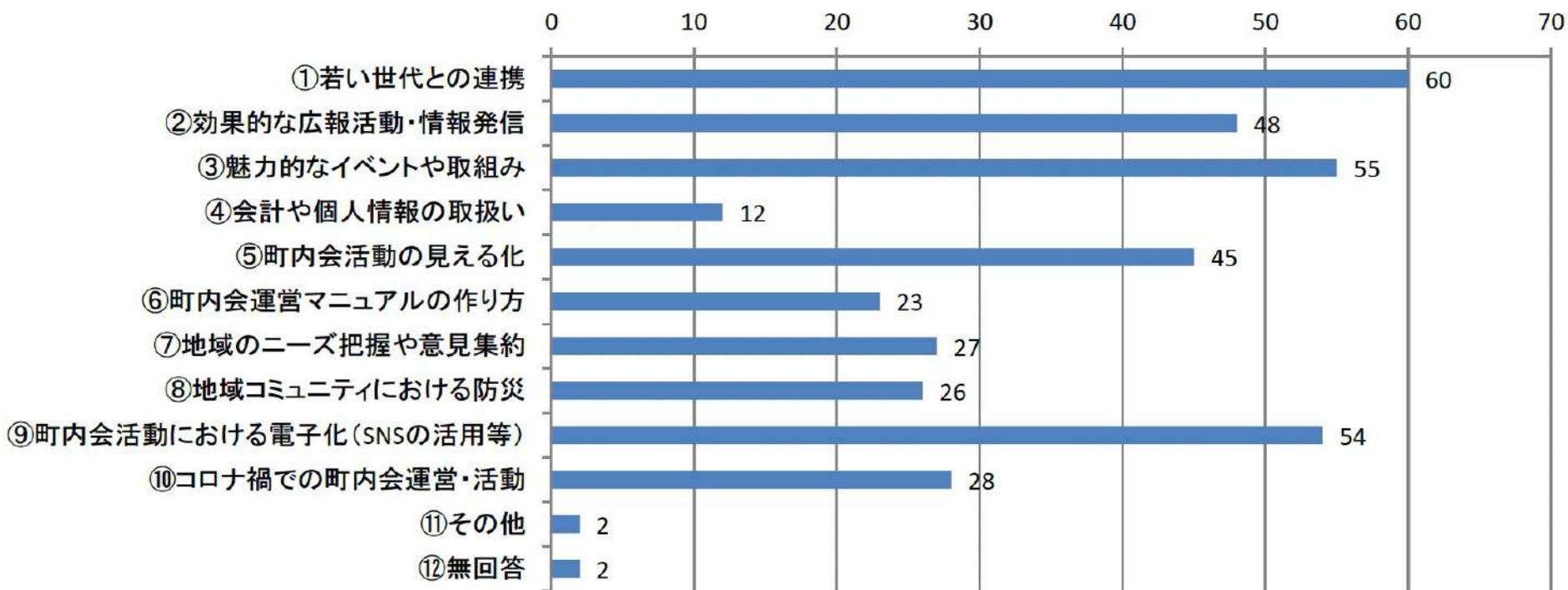
※令和4年の全国平均はデータなし

## ■ 令和4年度仙台市町内会活性化講座(基礎編)参加者アンケート結果(抜粋)

町内会の活性化のために、あなたの町内会で必要な事は何だと感じましたか？  
(複数回答)

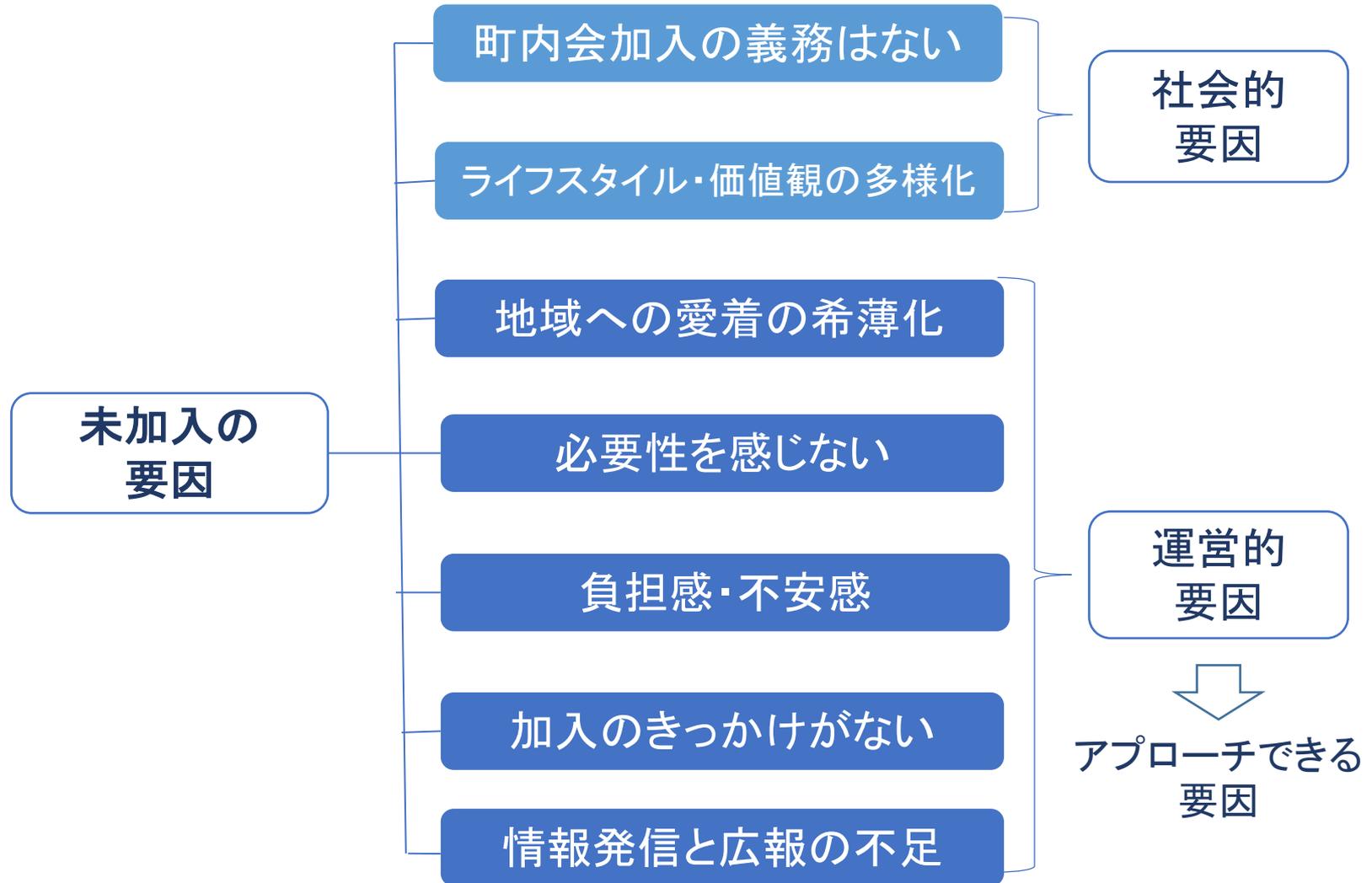


## 今後の講座で、受けてみたいテーマは何ですか？（複数回答）

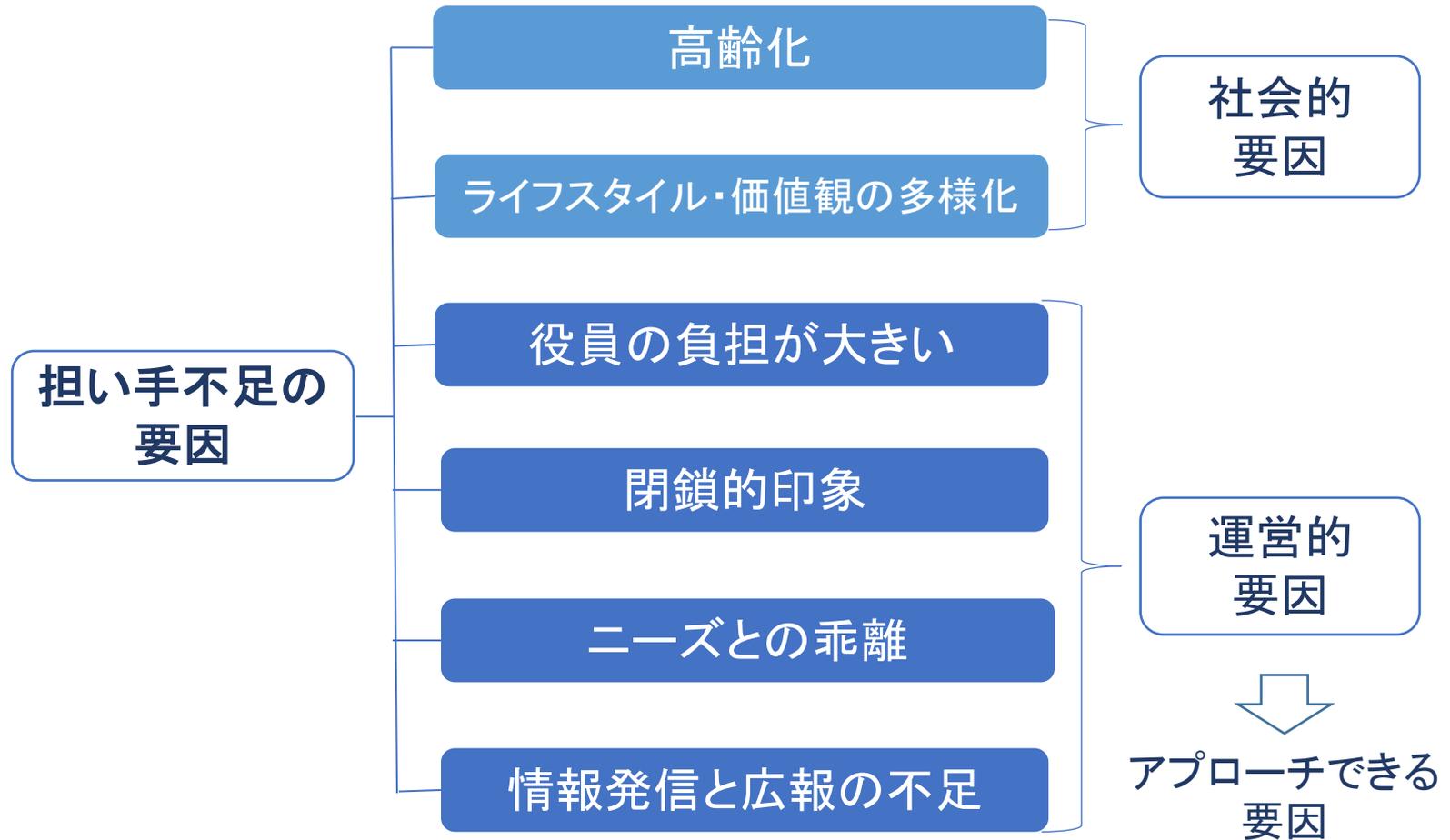


## 4. 令和の町内会運営のヒント

# (1) 町内会未加入の主要要因



## (2) 町内会の担い手不足の主要要因



### (3) 今後の町内会ですぐに取り組みたい3つのアクション

地域への愛着の希薄化

必要性を感じない

負担感・不安感

加入のきっかけがない

情報発信と広報の不足

役員の負担が大きい

閉鎖的印象

ニーズとの乖離

情報発信と広報の不足

すぐに取り組みたい  
3つのアクション

ニーズに対応した活動で  
「必要性」を感じてもらう

「オープンな運営」で  
参加しやすい組織

「デジタル化」で  
効率化と届く情報発信

## (4) 各世代のニーズに対応した必要性を感じてもらえる自治会

### ① 高齢者による高齢者中心の活動になっている

- 急激な高齢化により、役員の高齢化、そして高齢者向けの活動が中心になっている。

#### ■ ある町内会の年間行事

	主な活動	主な参加者
4月	町内会総会・懇親会	役員・班長
5月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
6月	お祭り	住民全体
7月	健康体操	高齢者
8月	カラオケ大会	高齢者
9月	防災訓練・秋祭り	住民全体
10月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
11月	カラオケ大会	高齢者
12月	クリスマス会・餅つき	子ども
1月	新年交流会	役員が中心
2月	健康体操	高齢者
3月	進学祝い金	子ども

## ②子育て世代や若い世代も地域コミュニティを必要としている

- 子育て世代や若い世代のニーズを確認しましょう。

### ■令和4年度に仙台市内の子育て世代へヒアリング

#### 町内会には加入しているが、実態がわかりにくい

- 町内会がどんな活動をしているかはあまり知らない、見えにくい
- 町内会費は払っているが、何に使われているかわからない
- 活動に参加するきっかけがない



#### 負担を感じる

- 働きながら子育てをしているためできないことが多い
- 回覧板は書類が多く、目を通すのが大変な時もある

#### 子育てにおける『孤独』の解消・多世代の交流

- 産後は社会から切り離され、一日中子どもと二人のことが多いため、おしゃべりができるような場が地域にあると嬉しい
- 近くに身内がないため、緊急時に近隣の方に子どもを預けられるような仕組みがあると助かる
- 子どもから高齢の方までが楽しめて、交流できる機会は大切だと思う

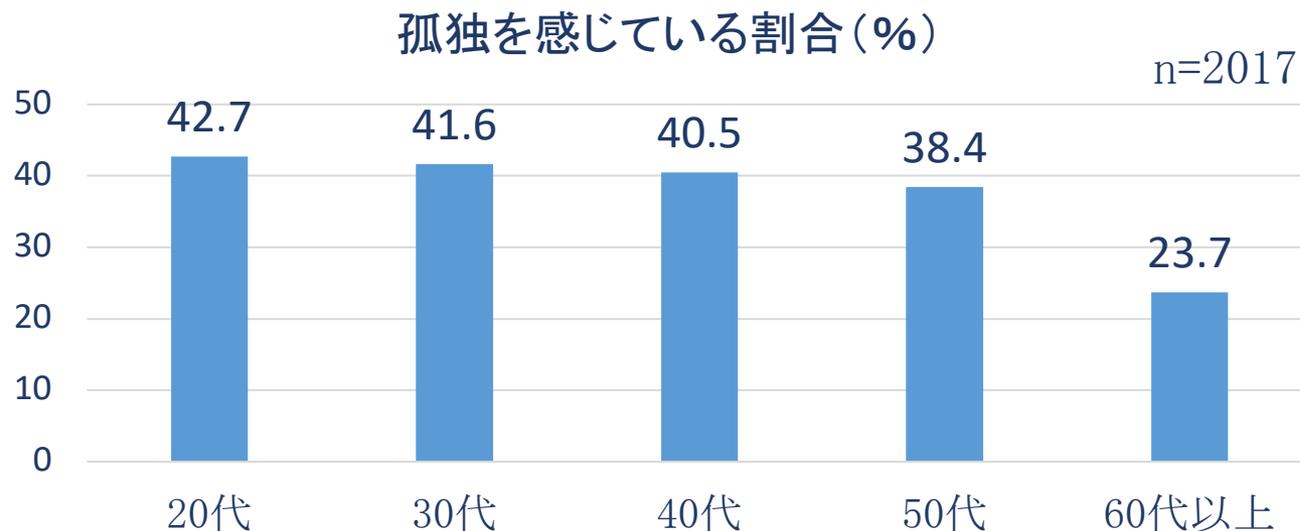
## ●子ども食堂



まんぷく！ゆたか食堂(札幌市豊平区平岸 平岸4区ゆたか町内会)

### ③若い世代ほど「孤独」を感じている

「特定非営利活動法人あなたのいばしょ」と「国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)」が令和4年2月に実施した「コロナ禍での人々の孤独に関する調査」では、孤独を感じている割合が最も高いのは20代で42.7%、最も低いのは60代以上で23.7%となっています。



## ●コミュニティの場を求めている若い世代

- 多様な居場所、つながりがあるまちにすることが必要である。



## ●集会所を居酒屋に（北海道札幌市豊平区旭水町内会）

- 役員の担い手不足や町内会行事に対する参加者の固定化が課題であった。
- 近隣に大学があるため、学生や若者が多かったことなどから、世代間交流事業として、集会所での居酒屋がスタートした。
- 大学生なども手伝いに来るなど、町内会に関わるきっかけになった。
- 年に6回、奇数月の第3土曜日に開催している。
- 子どもを連れて参加できることもあり、少ない時でも60人、コロナ後は100人程度が参加している。
- 賃貸住宅やマンションの居住者も数多く参加しており、そこから町内会活動をサポートしてくれるメンバーも増えている。
- 町内会の役員などが中心となって運営している。



## ●集会所に図書館を設置

- 町内会が主体となって地域の住民に図書館サービスを提供する。
- 町内会が図書館を運営することで、地域の人々にとって集会所が身近な場所になり、コミュニティの結びつきを深める役割を果たしている。

### ○兵庫県川西市大和自治会

- 1回当たり6冊まで、3週間まで借り出す。そのほか、本の読み聞かせなども実施している。



<http://www.daiwajichikai.com/toshokan.html>

### ○小樽市朝里地区の新光町会（あじさい文庫）

- 集会所に交流を促すことを目的に図書室を開設した。約5000冊の蔵書を所有。



<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/732515>

## ●若い世代が関心のある行事

- 若い世代の関心が高く、気軽に訪れることができるフリーマーケットなどを開催することで、町内会を知ってもらう。
- フリーマーケットの企画・運営するメンバーを募集して、町内会に関わってもらうきっかけにする。



川崎市高津区では2つの町内会が合同でフリーマーケットを開催  
参考：<https://www.townnews.co.jp/0202/2012/05/18/144890.html>  
(タウンニュース 川崎高津区版 平成24年5月18日号)



フリーマーケットの出店者の募集  
チラシを未加入者に配布することで活動を知ってもらう

## ④賃貸住宅やマンションの住民の必要性

- 町内会の加入促進は、まずは町内会を理解してもらうことが必要
- 共通のテーマで理解を深めることが必要



交通安全・防犯

敷地から外の防犯は  
町内会が担っている

ボランティアに関心の  
ある若者は増えている



子育てサロン・食育イベント



防災訓練・DIG

公園の清掃  
花植え

高齢者の一人暮らし  
部屋と会社の往復の若者

悩みを抱える子育て世代



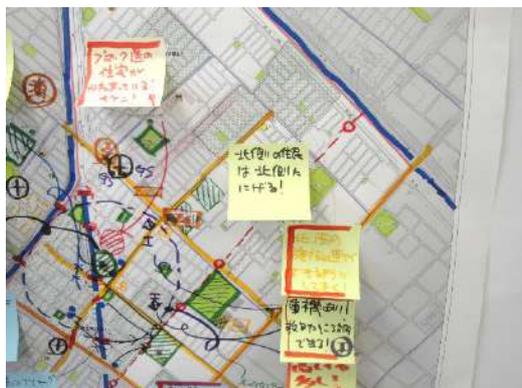
多世代の交流イベント



お祭り

マンション管理組合  
マンションの建物・敷地管理運営

- 防災訓練などは、町内会とマンションなどが連携して実施できるテーマ

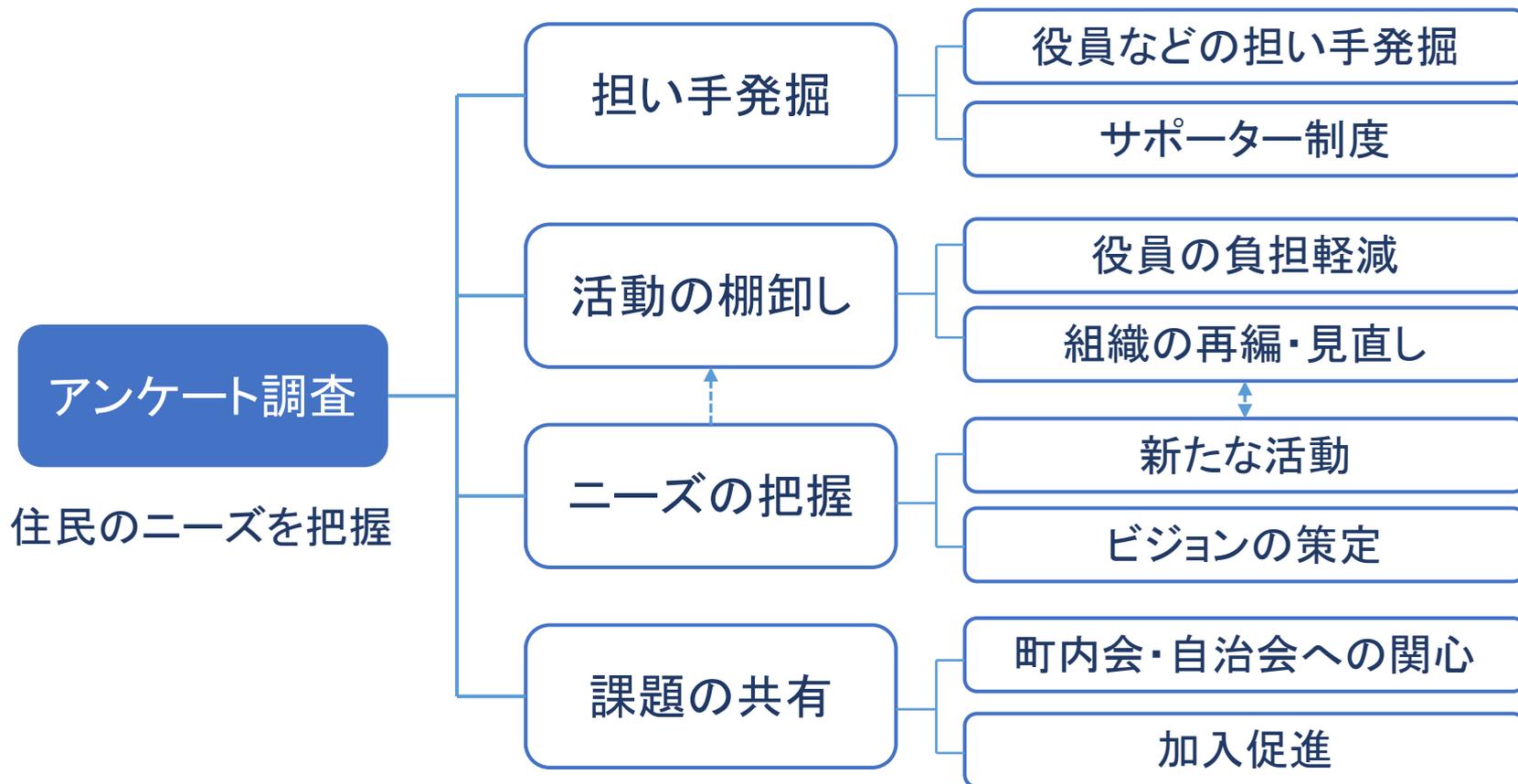


札幌市手稲区新発寒地区  
災害図上訓練

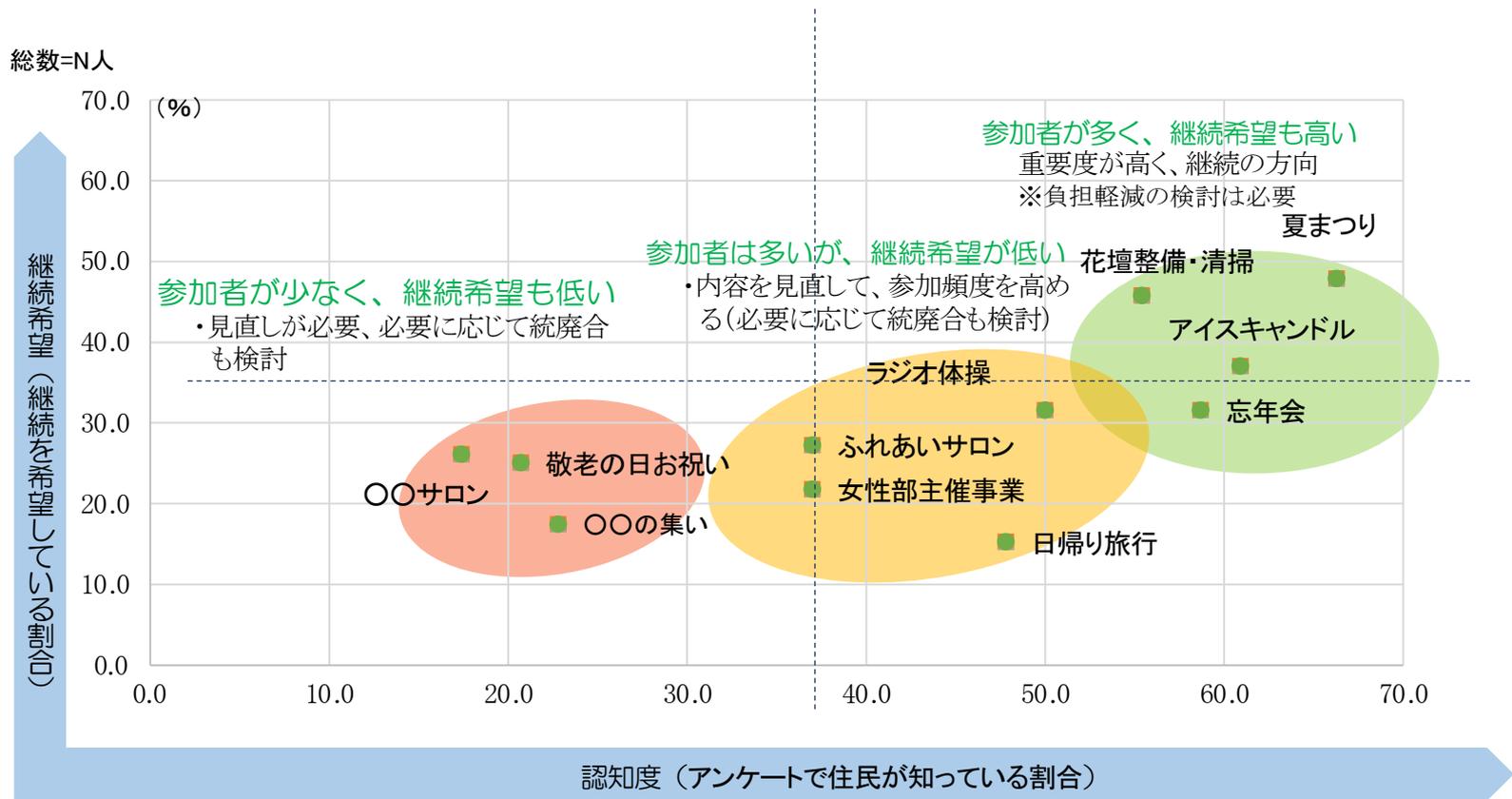


札幌市南区藤野地区 災害図上訓練と炊き出し訓練

## ⑤ニーズ把握と担い手発掘はアンケートが効果的



# アンケートの分析～活動の棚卸しと新たな活動を考える



# アンケートから再生した町内会

札幌市内のある町内会  
担い手不足で町内会の解散を検討

札幌市町内会アドバイザー派遣

**アンケートの実施**  
解散しても良いという声は1割  
サポーターの発掘・活動のニーズ把握

- 役員の負担を軽減しながら町内会を存続
- アンケートでサポーターを発掘
- ニーズに応じて活動を見直し、組織を縮小

**サポーター会議の開催**  
活動の棚卸し・組織の見直し(部の統廃合)  
役員の任期の検討

- サポーター会議の開催
- サポーターから総務部をサポートしてくれる人材を確保
- サポーターがLINEグループでつながる
- 日帰り旅行、新年交流会などを廃止
- 部の統廃合によって組織を縮小

**サポーターチーム中心による新たな活動**  
ハロウィンイベントの開催  
クリスマス会の開催

- サポーター中心で企画・実施
- 新たなイベントで新たなサポーターを発掘
- プロジェクトチームに任せる運営へ転換
- 子ども・子育て世代を重視した活動

# サポーターが企画・開催したクリスマス会

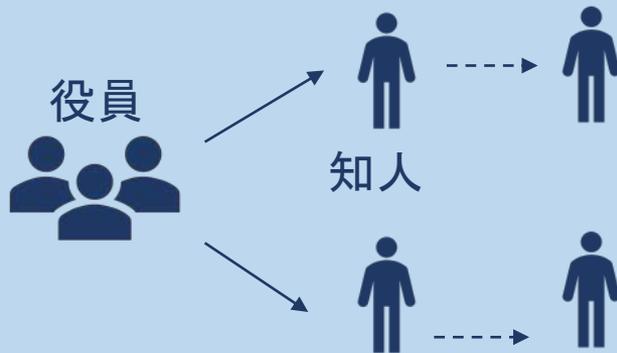


## アンケートで広く人材の発掘

- 町内会の役員は、顔見知りからが多く、その範囲や世代は限られている。
- アンケートで広く人材を発掘する大切である。

### アンケートでの人材発掘範囲

#### 役員による直接的な人材発掘範囲



顔見知りの範囲・世代が近い



地域コミュニティの力  
が必要

子育て世代など  
多世代



やれる時に  
やれる範囲内で



地域に貢献したい

## (5) オープンな運営で参加しやすい町内会

### ① 誰もが参加できる

- 総会や役員会などには誰もが自由に参加できるようにします。
- 総会や役員会などは多くの方が参加できる時間帯に開催します。
- これからは総会や役員会などはオンラインで開催することも必要です。

### ② 多様な参加の形態(サポーターを増やす)

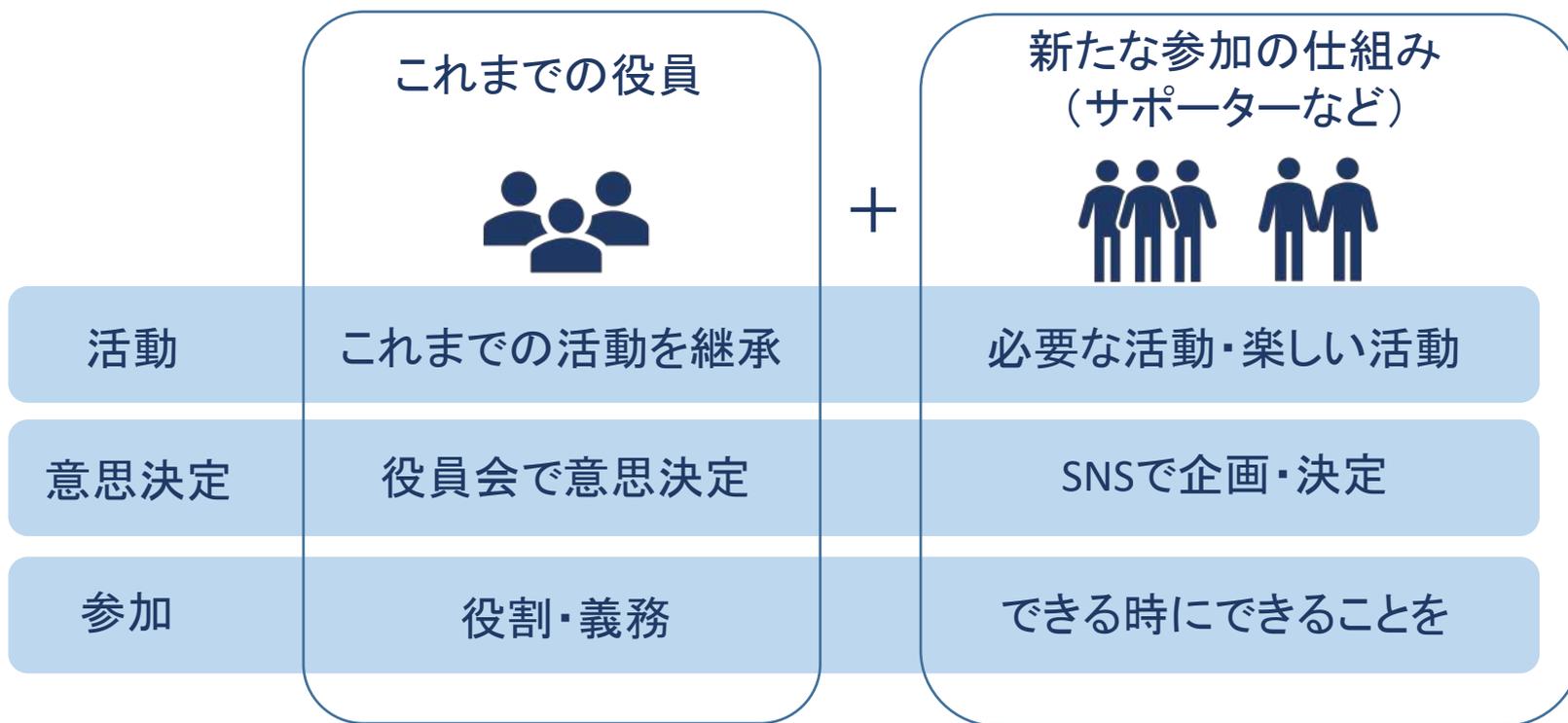
- 現役世代も町内会に関われるように「やれるときに、やれることを」を基本に「サポーター」を増やしましょう。
- イベントは「実行委員会形式」で、協力参加を呼びかけましょう。

### ③ 各世代から役員を選出

- 世代ごとに役員を選出することで、各世代のニーズに対応した活動や運営を行うことができます。

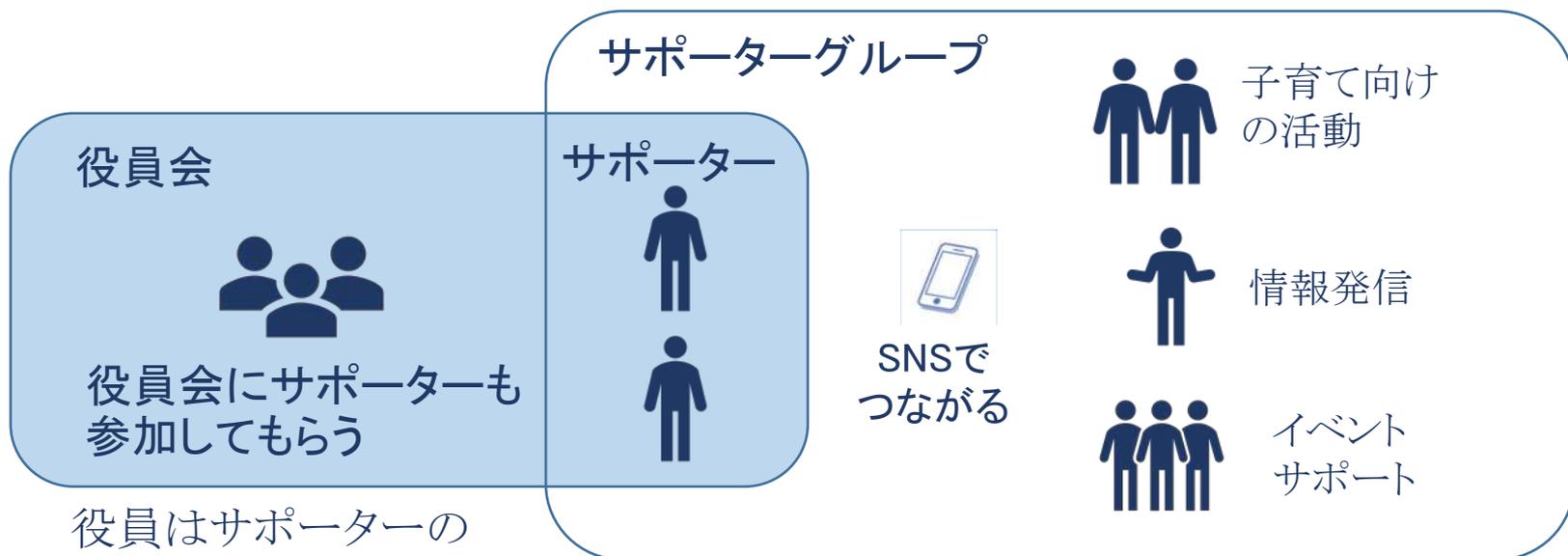
## 新たな参加の仕組み(できる時にできること～サポーター制度)

- 新たな参加の仕組みをつくり、自治会に関わるメンバーを増やすことが必要である。
- 役員とは異なる世代を新たな仕組みで参加できるようにすることが大切である。



## サポーターとつながりをつくり、企画から任せる

- サポーター会議などを開催し、役員とサポーターのつながりをつくる。
- サポーターに新たなイベント・活動を企画から任せる。
- 役員は支援者に徹する。



- サポーター会議でサポーター同士のつながりをつくる
- LINEグループなどで緩やかにつながる
- サポーターの負担にならない活動
- 子育て世代向けの活動などを企画から行う
- 新たなイベントや活動を通じてメンバーを増やす

## ④役員複数制

- 役員の負担を軽減するために、役員を複数制として代替わりがしやすいようにします。
- 前任者と新任者が重複する期間を設けることで、円滑に引継ぎができるようになり、新任者の精神的負担が軽くなり、継続性も確保できます。



役員は複数制にして重複期間を設けることで継続性を確保できます

## ⑤役員任期のルール化

- 役員の任期を明確にして交代します。
- 役員の任期を決め、「輪番制」など入れ替わる環境をつくります。

## ⑥役員定年制

- 役員の定年制を導入します。
- 役員の高齢化を防ぐと同時に、引き継ぎがスムーズに行えます。

## ⑦役員の輪番制

- 役員の輪番制を検討する町内会も増えています。
- 輪番制の導入にあたっては、以下のことを検討した上で実施することが望ましいと考えられます。

ア. 活動の棚卸しを行い、役員の仕事を簡素化します。

イ. 簡素化した仕事のマニュアルを作成します。

ウ. 様々な理由から役員ができない世帯をどうするか検討し、ルール化することが必要です。

例えば役員をやらない世帯は、会費を高くしている町内会もあります。

また、輪番制の役員に適度な報酬を支払っている町内会もあります。



# ●若い世代に対し、チラシを配って町内会を周知 (北海道札幌市北区幌北第7町内会)

- 大学生が多く住んでいる町内会
- 町内会を紹介するチラシを配布し、町内会活動についてのアンケート調査を実施
- アンケート回答の中には大学生から「アンケートで初めて町内会の存在を知った」という声やフリーマーケットをしたい、というアイデアも出された。

**町内会費の使い道**  
 令和3年度町内会活動予算 47,128,000円

会費	12,000円
雑費	1,000円
その他	34,128,000円

**各連絡先**

役職	氏名	電話番号
会長	山本 浩一	011-722-4410
副会長	山本 浩一	011-722-4410
幹事	山本 浩一	011-722-4410
会計	山本 浩一	011-722-4410
庶務	山本 浩一	011-722-4410
広報	山本 浩一	011-722-4410
総務	山本 浩一	011-722-4410
生活	山本 浩一	011-722-4410
文化	山本 浩一	011-722-4410
スポーツ	山本 浩一	011-722-4410
福祉	山本 浩一	011-722-4410
環境	山本 浩一	011-722-4410
その他	山本 浩一	011-722-4410

**幌北第7町内会に関するアンケートのお願い**  
 2021年11月吉日

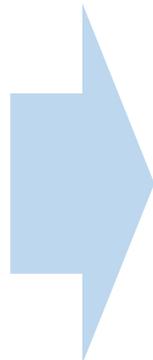
幌北第7町内会  
 平成から町内会活動にご協力いただき、ありがとうございます。  
 現在が週末で学生、子育て世代が多く住んでいます。徐々に割合  
 が変わってまいりました。  
 そのなかでも、若い世代の方も多く住み始めています。一方で高齢化も進  
 んでおり、役員候補の不足が懸念されています。また、  
 加入費が1,200円という大きな負担のため、ひきつらさが強い町内会と  
 なり、役員候補の不足を懸念しています。状況にあわせて活動内容の  
 変更を行うのが良いのか悩んでいます。そのため、具体的にどのよう  
 な活動を行うのが良いのかを知りたいと考えています。  
 そこで、まなほ町内会の調査を知りたいと考えています。その上で、皆さんの  
 アンケート結果に基づき、活動内容の改善を考えてまいります。  
 ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※ アンケートの回答・提出方法については、裏面に記載されています。

## (6) デジタル化で効率化と届く情報発信

### ① デジタル化ってなに？

町内会の  
デジタル化



**文章のデータ化** (wordなど)



**役員のコミュニケーションの  
デジタル化** (メール / LINEなど)



**活動の情報発信のデジタル化**  
(SNS / LINE公式アカウントなど)



**総会などの会議のデジタル化**  
(zoom / メール / googleフォームなど)



**会費等の集金のデジタル化**  
(振込・電子決済など)



## ②デジタル化するメリットってなに？

### ●地域の人とつながりやすくなります

- ・ 役員同士の連絡が容易になります
- ・ 住民へ緊急連絡がしやすくなります
- ・ 一人暮らしの方の安否確認なども活用できます

### ●どこからでもつながりやすくなります

- ・ 役員会などに直接出席できなくても、オンラインで参加できるようになります
- ・ 現役世代が町内会の会議などに参加しやすくなります

### ●情報共有がしやすくなります

- ・ 災害時などの緊急の情報共有しやすくなります
- ・ 過去の記録をデータで保存できます
- ・ 回覧板を見ない若い世代へ情報を伝えやすくなります

### ●訪問の手間などを軽減できます

- ・ 電子回覧板は訪問の手間を軽減できます
- ・ 将来電子決済などを導入することで、会費の徴収などの手間を軽減できるようになります。

## ● 伝わる情報発信

～デジタル化で「届く情報発信」と「つながり」をつくる

### SNSの導入

- SNSで町内会の情報発信  
(Facebookページ、LINE公式アカウント・Instagram)
- SNSを活用して役員の負担軽減(LINEグループ)
- SNSで参加しやすい組織



- 自治会のFacebookページをつくり、会員や外部に情報発信を行います。



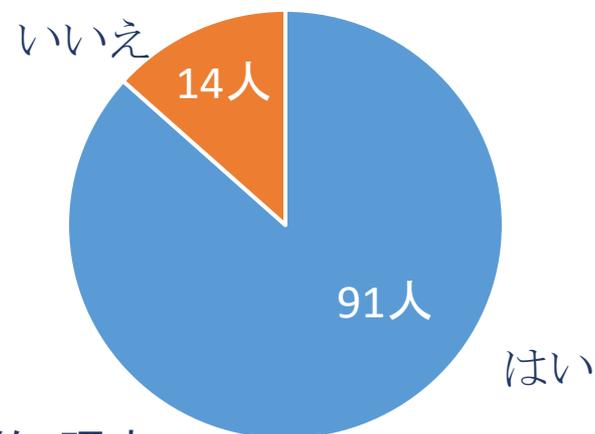
- LINEグループ
  - 役員間でLINEグループをつくり、現役世代も役員会に参加しやすくし、時間の負担を軽減します。
- LINE公式アカウント
  - 町内会会員向けのLINE公式アカウントをつくることで、会員向けに情報発信ができます。
  - 回覧板のように利用することができます。

## ● SNSを活用する子育て世代

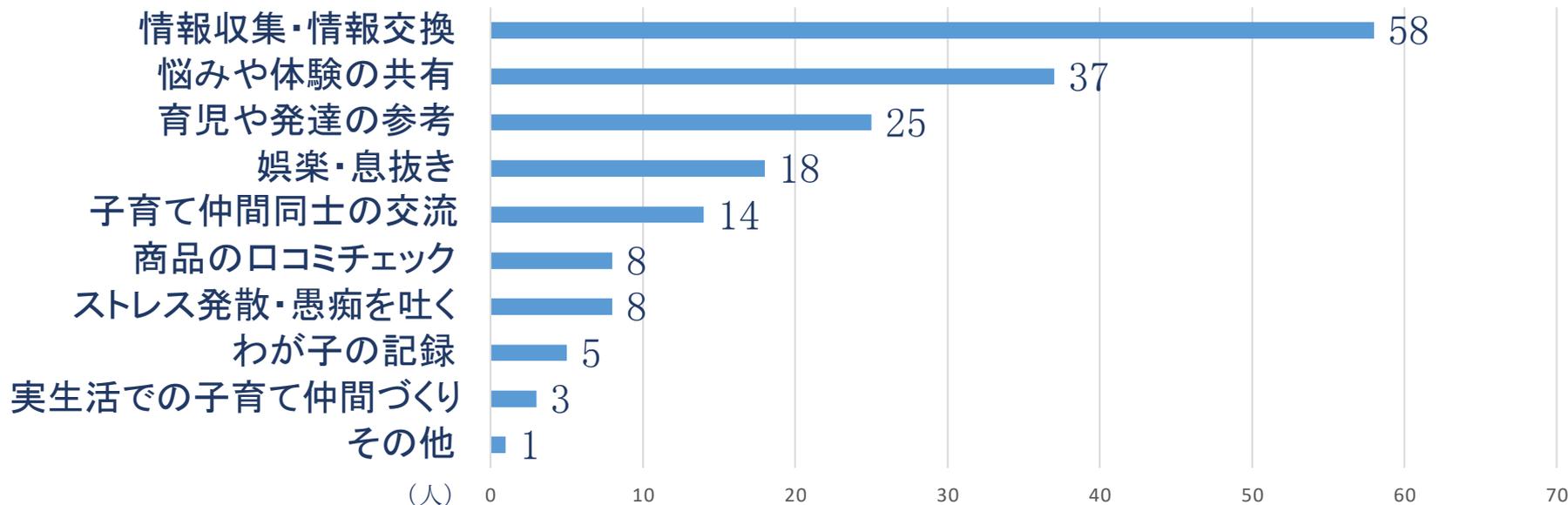
NHK Eテレ すくすく子育て情報 より

- 子育て世代は、「情報収集・情報交換」「悩みや体験の共有」「育児や発達の参考」などを目的に、SNSを活用しています。

子育てでSNSを使っていますか

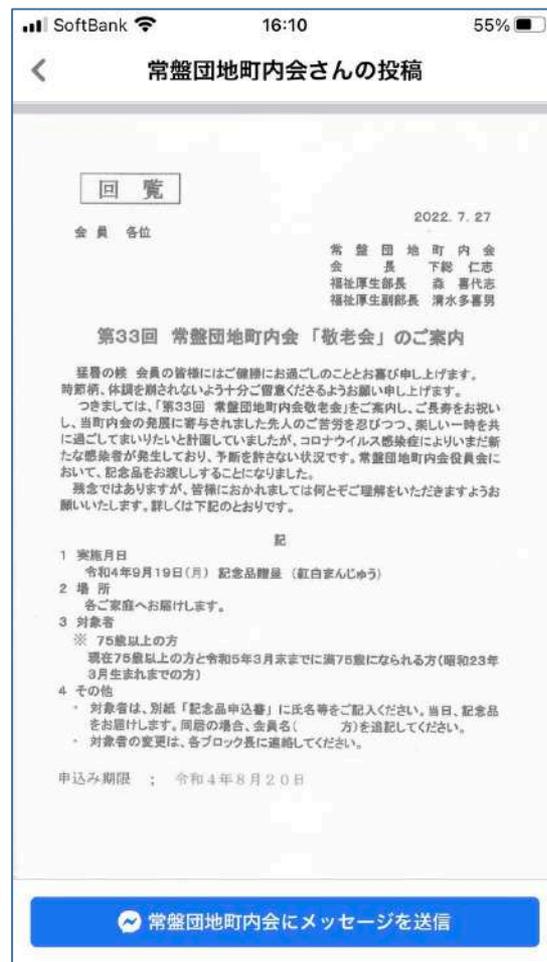
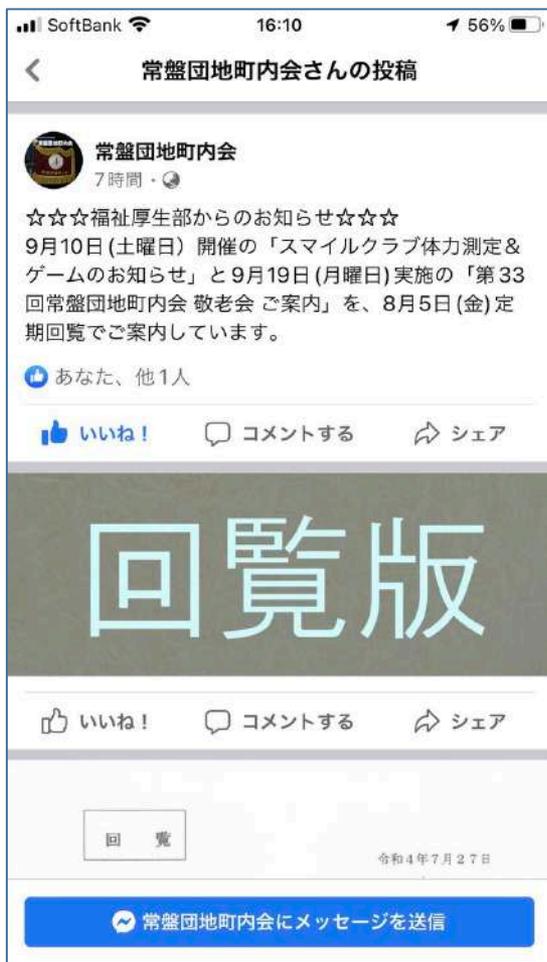


子育てでSNSを利用する目的・理由



# Facebookページで情報発信

- 回覧をFacebookページでもアップして、広く周知している町内会・自治会もあります。



## 世代によって利用するSNSも異なります

10代・20代前半



新聞・テレビは見ない  
ネットで情報収集

20代・30代・40代



Instagramで情報収集

50代・60代・70代



Facebookが多い  
コミュニケーションはLINE

# 世代別情報ツール利用状況

## Twitter

### 国内ユーザー数

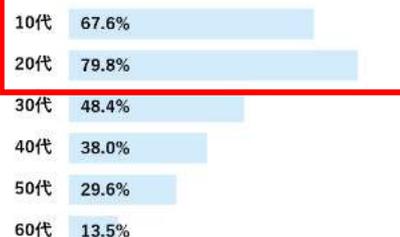
4,500万人以上

※ 2017年10月時点

### 性別



### 年齢別



## Instagram

### 国内ユーザー数

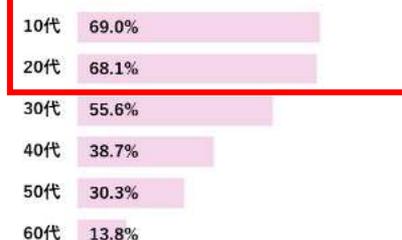
3,300万人以上

※ 2019年3月時点

### 性別



### 年齢別



## LINE

### 国内ユーザー数

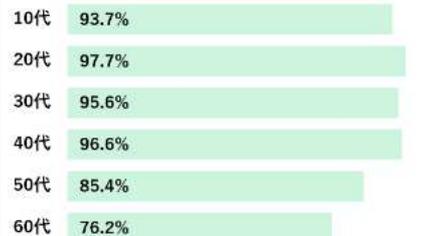
9,000万人以上

※ 2021年12月時点

### 性別



### 年齢別



## Facebook

### 国内ユーザー数

2,600万人以上

※ 2019年7月時点

### 性別



### 年齢別



参考：株式会社グッドキューブ

## ● 役員の負担軽減・現役世代も参加しやすい組織へ

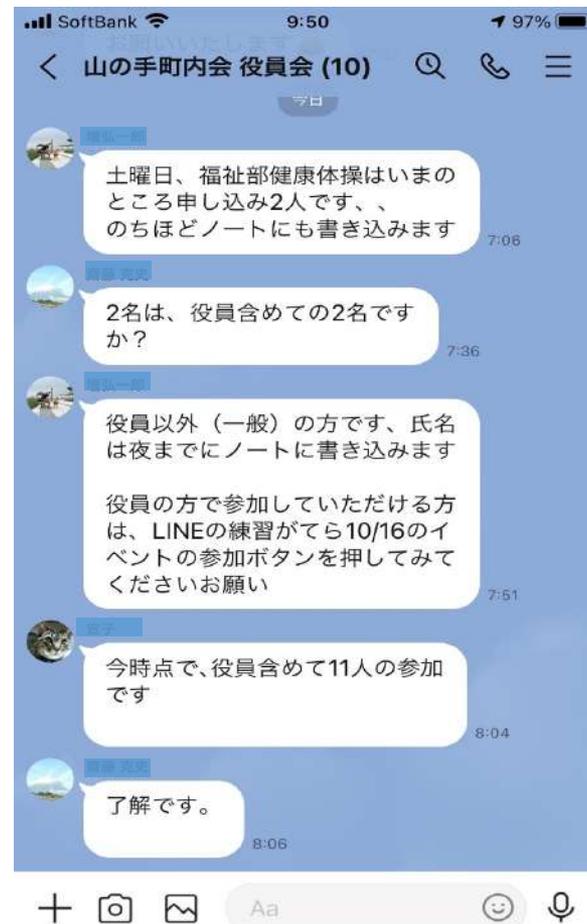


### LINEグループ

- 役員間でLINEグループをつくり、現役世代も役員会に参加しやすくし、時間の負担を軽減します。
- 電話やFAXではなく、LINEグループで情報を共有することで役員の負担が軽減されます

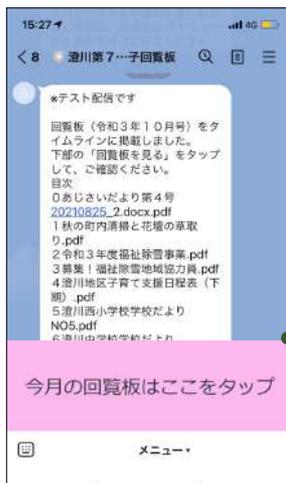


参画しやすい組織への一歩



# 事例 LINE公式アカウントとホームページを活用した電子回覧板 (札幌市南区澄川第7町内会)

- 会員にアンケート調査を行ったところ、「デジタルツール」を活用した情報発信を望む声があり、マンションの居住者にも、町内会の情報を届けやすくするため導入した。
- 澄川第7町内会では紙の回覧板と併用して、LINE公式アカウントによる回覧内容の概要を配信している。



LINE公式アカウント

ピンク色の  
バナーをタップ



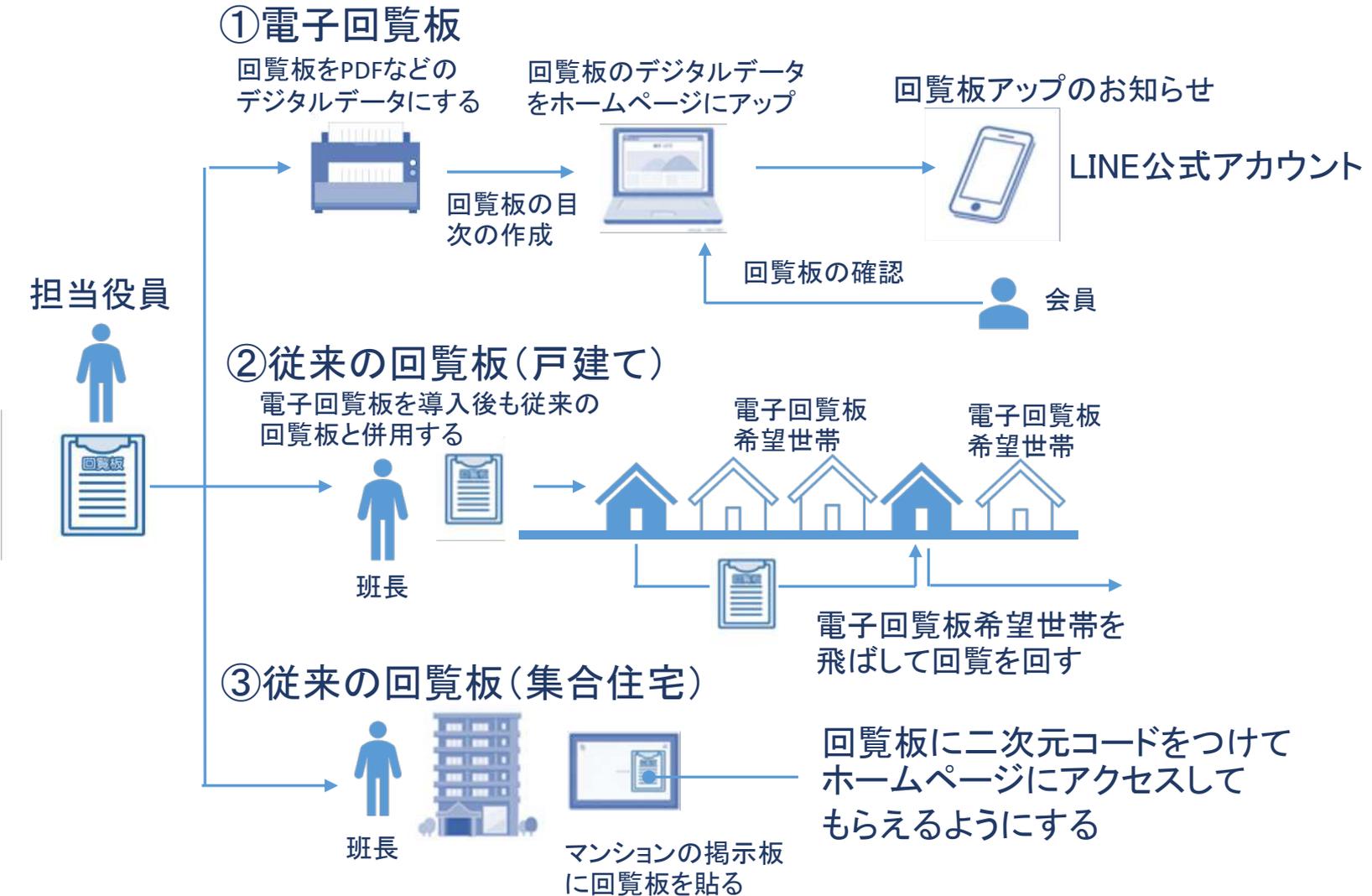
澄川地区連合会のホームページ

回覧物のデータが見られる!



# ●電子回覧板の導入イメージ

多くの人が利用しているLINEを活用することもできます



# ●Instagramを用いた町内会の情報発信

(北海道千歳市みどり台北町内会)

- 若い世代が多く居住しているという特性から、Instagramを用いた情報発信を行なっている。
- ハロウィンや節分、新一年生のお祝いなど子ども向けのイベントの告知や開催結果の報告などを行なっている。
- また、町内会の会費の案内やボランティアの募集などの案内も行なっている。



## ● 学生さん・若い世代にできないことを依頼して参加してもらう

- できないことを高校生や学生さんにお願いしましょう！
- しっかりと役割分担を明確にしてお願いしてみることで、「それならお手伝いできるかも」という方が出てくるかもしれません。



## 町内会は分岐点

- 各世代から必要性を感じてもらえるように
- 住民・役員の負担を軽くしましょう
- デジタル化はメリットが大きい

# ワークショップの進め方

# ワークショップのテーマ

令和の町内会運営に向けて  
今できること

# グループで話し合うこと

## 【テーマ1】

各世代のコミュニティのニーズを考えましょう

- 自分たちの地域コミュニティのニーズを考えましょう
- 子どもたち、若い世代、現役世代、高齢世代など多世代の視点から考えてみましょう

## 【テーマ2】

令和の町内会運営に向けて求められる町内会の活動や取り組みのアイデアについて考えましょう

- ニーズに対応した活動や取り組みのアイデアを考えましょう

# 本日のワークショップの進め方

- 各グループの中で、「進行役」「書記」を決めてもらい、グループでの意見交換を進めます。
- 「進行役」の方は、グループ内のメンバーから意見を出してもらおうなど話し合いの進行を行います。
- 「書記」の方は、グループメンバーの発言を付箋紙に書き留めていきます。

# グループでの話し合いの進め方

①グループのメンバーで自己紹介

5分

おひとり 1分 でお願ひします！！

②各グループのなかで、「進行役」「書記」を  
決めてください。

2分

※指名でも、立候補でも、じゃんけんでもいいです！

※**2分間**で決めてください！

# 【テーマ1】:コミュニティのニーズを考えましょう

3分

①現在の活動、今後想定される活動について、特に求められていると思う世代にシールを貼りましょう。

- 若い世代のニーズなのか
- 役員の周りの人だけのニーズではないか

②なぜその世代が特に必要なのか話してみましょう

※付箋は何枚使っても結構です。

※一つの付箋には、一つの意見を書きましょう(いくつかある場合は、付箋を分けて書きましょう)

# 【シートのイメージ】

活動	どの世代に特に求められているか					なぜそう思ったか
	子ども	大学生 高校生	世代 働き	世代 子育て	高齢者	
ごみ集積所の管理	-----●-----●-----●-----●					
花壇の整備	----- ----- ----- -----					
町内清掃	----- ----- ----- -----					
子ども向けイベント	----- ----- ----- -----					
交通安全	----- ----- ----- -----					
盆踊り・夏祭り	----- ----- ----- -----					
旅行	----- ----- ----- -----					
芋煮会	----- ----- ----- -----					
忘年会・新年会	----- ----- ----- -----					
防災訓練	----- ----- ----- -----					
地域食堂	----- ----- ----- -----					
サロン	----- ----- ----- -----					
高齢者の見守り	----- ----- ----- -----					
情報発信(SNS)	----- ----- ----- -----					
町内会のデジタル化	----- ----- ----- -----					

## 【テーマ2】:

令和の町内会に対するニーズを踏まえ、町内会の活動や課題、取り組みのアイデアについて考えましょう

今後求められる町内会の活動やアイデアを考え、付箋に書いてシートに貼っていきます。

- ニーズを踏まえて、今後どのような取り組みが必要か
- これからの町内会運営の中で、担い手づくりにどんなことが必要か

## 【シートイメージ】

各15分

※書記の方は、話し合いの中で出された意見を付箋に書き留めて、模造紙に追加で貼ってください。

令和の町内会運営に向けた最近の町内会の活動や課題

最近の町内会活動

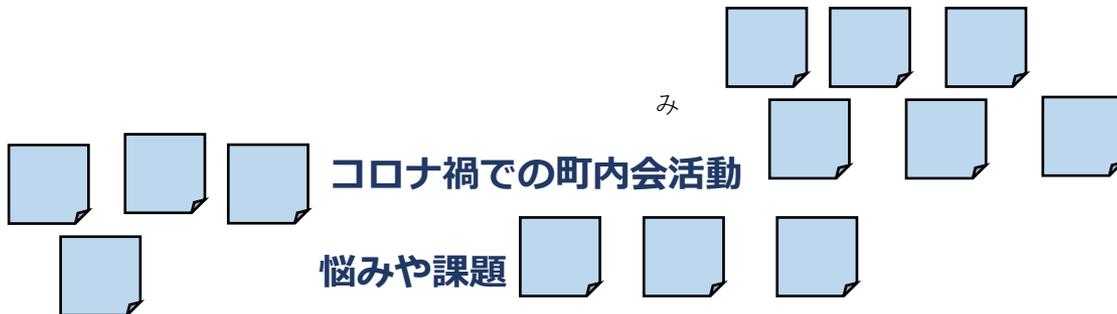
悩みや課題

令和の町内会運営に向けた最近の町内会の活動や課題

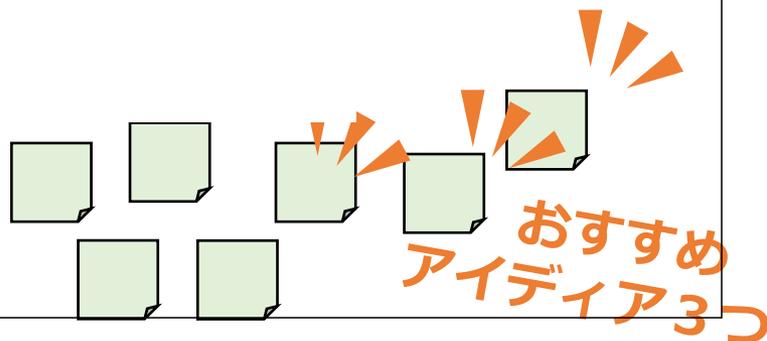
【シートのイメージ】

各15分

令和の町内会運営に向けた最近の町内会の活動や課題



令和の町内会運営に向けた最近の町内会の活動や課題



~~~のために  
~~する

~~~のために  
~~する

~~~のために  
~~する

A3の用紙に書いて  
ください

# 発表は、

1グループ 2分くらいで  
発表をお願いします

インタビュー的にグループを回ります。

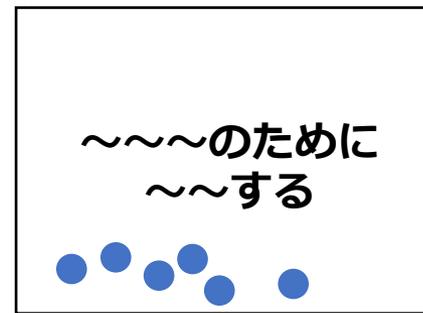


手短かにグループの意見を発表してください。

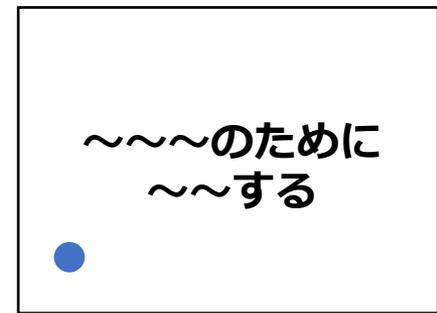
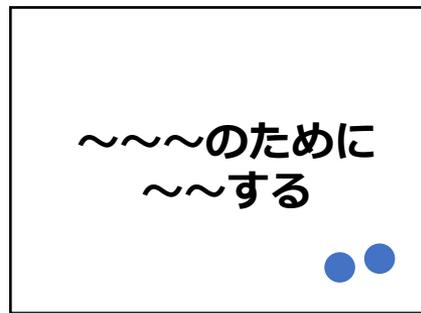
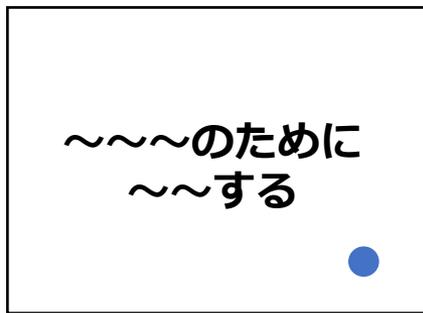
- ① 令和の町内会運営に向けた最近の町内会の活動や課題(テーマ1)
- ② 令和の町内会運営に向けて求められる町内会の活動や取り組みのアイデア おすすめの3つ(テーマ2)
- ③ 他のグループにも知ってもらいたいと思う活動

# 投票！

「いいね！」「やってみたい」と思うアイデアにシール投票をします。



ナンバーワン  
アイデア！



# 話し合いのときの約束事

- 話は短めに(話しすぎ注意)  
長くても2~3分/人くらいが目安です!!
- 違って当たり前(否定しない)
- 話をつなげる(話を楽しむ)
- アイデアは質より量